

君に贈る物語

先輩から後輩へ、 本のレコメンデーション!!

先輩が後輩に読ませたい1冊を選び、
それぞれ感想を寄せてもらいました。

先輩：原 敏行のレビュー

本のタイトルを一見すると、全く接点がない様な単語が二つ並列になった変わった題名の本ですが、私にとっては非常に興味深い二つの単語でもあったので、思わず衝動買いをしてしまった一冊です。新書なので難しい専門用語が並んだ難書と思われがちですが、お薦めする要因にもなった誰にでも読みやすい内容の本です。

現在、世界人口は73億人を超えているそうです。その総てを支えていくため、農業では二十世紀になって「農業機械、化学肥料、農薬、品質改良」の四つの技術を革命的に変え、大量生産を可能にしました。しかしその大量生産の技術は戦争兵器としても活用されてしまいました。例えばトラクターで使用していたキャタピラーが戦車に、化学肥料の大量生産技術が火薬の大量生産にと、肉にも大量生産の技術が発展すればするほど大量殺戮の技術も発展していく世界になってしまいました。私たちの生活は、この大量生産のおかげで十分潤っているのですが、その反面、大量生産を高めるために、奴隷を生み、片やカーギルといった一部の人間、企業の独占的な利権を生み、同じ人間なのに人権、貧富の差を広げてしまいました。農業は人間が生きていくためには絶対に必要な産業であるのに、このような現代社会の歪みというか、さまざま問題を生み、残念なことにその技術の発展が現在は間違った方向に進みつつあり、後々それが人間社会の崩壊を導く源になっている事をこの本は教えてくれます。

この様な難しい問題は、上の人に任せれば良いといった風潮を私達は反省しなければならぬ。各個人が、たとえ先が見えない果てしない道でも、考え行動することにより、「人間らしい生き方」の方向性が見えてくるのだと、テレビ番組の「ボソと一軒家」を見ながら考えさせられました。…とは言え、あと10年20年しかない私より(笑)、まだ折り返ししていない鈴木君の様な若い世代に託して行く方が賢明と思い、この本をお薦めする次第であります。



後輩：鈴木啓介のレビュー

著者は1976年生まれ京都大学人文科学研究所の准教授で、専門は農業技術史、ドイツ現代史という人物です。この本の前半は主に、人類の文明化の歩みとともにあった農耕が、19世紀以降の科学革命によって一変したことが書かれています。たとえばトラクターの開発によって、ソ連の農業政策がソホーズ(国営農場)化とコルホーズ(集団農場)化へと向かったといいますが、そのとき妨げとなったのは、小規模耕作地の存在でした。そこでスターリンは農家の階級的撲滅を掲げて暴力的に土地を収奪し、集団化によって土地の統合を図ります。こうして区画された広大な土地をトラクターで耕していったのです。

またトラクターは牛馬を排除しましたが、家畜のように糞尿を出すことがないため、堆肥にかわる肥料を別途調達する必要が生まれました。やがてドイツで空気中の窒素をアンモニアとして取り出す技術開発が進み、化学肥料が発明されるのです。ですが、こうした農業科学革命は戦争のための技術へと「スピンオフ」されていきます。トラクターのキャタピラーは戦車に転用され、アンモニアによって生成される硝酸が火薬生産に生かされていきました。

後半は現代の農業/食べものが抱える危険にも話題は広がっていきます。食品の大量廃棄、種子会社による農民支配、劣悪な環境下での家畜飼育など、重い話が続きます。大量の資源を使って大量に生産し、大量の廃棄物を生む現代に生きる我々は、食だけではなく、何事にも「結果」を求めすぎて、その間の過程には目を向けられない風潮があるという部分には構ってしまいました。「戦争と農業」という一見難しそうなタイトルで少し身構えましたが、普段なら手に取ることがないタイプの本を読むことができ、視野を広げることが大事だな、と考えられたことが良かったと思います。



今回の書籍

『戦争と農業』
著者：藤原辰史
出版：集英社インターナショナル
価格：¥720+税

★お読みになりたい方に貸出します！弊社担当営業までお声がけください。

マーケティンググループ
原 敏行

マーケティンググループ
鈴木啓介

イベントインフォメーション 2019 ①→③月

- 1月2日(水)~2月17日(日)**
●ウィリアム・モリスと英国の壁紙展
-美しい生活をもとめて-
松坂屋美術館
- 1月24日(木)~2月3日(日)**
●久屋大通庭園フラリエ「クリスマスローズフェア」
3月末までハッピーズプリングフェスティバル開催。
2月1日~14日はバレンタインフォトスポットを設置。
- 1月31日(木)**
●中日ビルタウン(専門店街) 営業終了予定
※中日ビルは3月末閉館予定
- 2月1日(金)~2月5日(火)
2月7日(木)~2月11日(祝)**
●名古屋ラーメンまつり2019
久屋大通公園 久屋広場
- 2月9日(土)~4月7日(日)**
●特別展「尾張徳川家の雛まつり」
企画展「ひなを楽しむ-旧家のひな飾り-」
徳川美術館
- 2月23日(土)~4月7日(日)**
●特別展「挑む浮世絵 国芳から芳年へ」
名古屋博物館
- 3月10日(日)**
●名古屋シティマラソン2019
3月8日~10日ナゴヤドームにてマラソンフェスティバル2019を同時開催
- 3月23日(土)~31日(日)**
●白鳥ゴエンナレ「異界庭園」
白鳥庭園：日本の感性をテーマとするアートイベント。
週末はマルシェやワークショップを開催

※開催日・内容等が変更の場合があります。あらかじめご了承ください。

～編集後記～

▲今年1回目のサラダ劇団は「ゆく平成、来る新時代」にちなんだ話題を多くお届けしました。新しい元号について、いろいろと話題に上る今日この頃。ふと、自分の運転免許証を見てみると、有効期限は「平成〇〇年」と大きく書かれているのですが、元号が変わってしまうと、更新時期をうっかり忘れてしまいそうで心配です。実は、そんな声もあってか警察庁では新しいシステムが整った都道府県から西暦との併記を進めているとか。背景には免許を保有する外国人が増えていることも関係しているそうで、やはりこれも時代の流れだなあ…と感じます。

▲ちなみに今年は「世界デザイン博」「ベルリンの壁崩壊」「ゲームボーイ発売開始」「消費税スタート」などから30年。さらに、映画「ブレッドランナー」、「図書館戦争」、「AKIRA」のストーリーで設定されている年にあたるそう。あの頃、遠い未来に思っていた2019年。さて、その実像はどうなっていくのか楽しみです。

SARADA GEKIDAN ★ サラダ劇団

Tel:(052)331-8881(代) Fax:(052)332-3178 <http://www.kp-c.co.jp>

VOL. 59 2019

駒田印刷株式会社

この情報紙は駒田印刷とお取引頂いたお客様や、名刺交換をさせて頂いた方に、季刊で役立つ? 楽しい? 情報をお届けしています。どうぞ皆様でご覧ください。また、毎月同梱している人気のオマケグッズも、ぜひデスク周りやご家庭でお使いください!

料金後納

ゆうメール

COUNTDOWN

もういくつ寝ると...

あちこちで話題に上る「改元」。この「サラダ劇団」の発行日を1月15日とするとなんと、あと106日で新しい元号になるんですね。と、いうことで近い将来行われるビッグイベントまで何日あるのかカウントダウンしてみました。

ラグビーワールドカップ日本大会
あと **248日** (2019.9.20~11.2)
日本初としてアジア初のワールドカップは、20チームが参加。9月20日の開幕戦から11月2日の決勝まで48試合が行われます。会場は札幌から熊本まで全国12か所。愛知県では豊田市の豊田スタジアムで9月23日(ウエールズ対ジョージア)、9月28日(南アフリカ対ナミビア)、10月5日(日本対サモア)、10月12日(ニュージーランド対イタリア)の4試合が行われます。

2020 東京五輪
あと **556日** (2020.7.24~8.9)
大会マークやマスコット、新国立競技場など、いろいろとすったもんだがあった東京五輪も、いよいよ目前に開催期間は17日間と聞かされると意外に短い印象を受けますが、実際にはパラリンピック(8月25日~9月6日)を含めると、ひと夏まるごと国を挙げての一大イベントとなります。ちなみに東京の次の夏季五輪は2024年、パリで行われます。

駒田印刷100周年
あと **1544日**
大正12年4月(1923年)、駒田采次郎が名古屋市中区駿河町において駒田春日堂を創業。学習ノート、画用紙の製造卸を開始したのが始まり。毎年ご好評いただいている弊社のノベルティ商品「ノートダイアリー」も、実はこのルーツを受け継いだものだったりします。大正、昭和、平成、そして新しい年号へと歩み続ける弊社を、これからもどうぞよろしくお願ひします。※弊社Webサイトの下部にもカウントダウン計を設けてありますので、ご興味ある方は一度ご覧になってみてください。

2025 大阪万博
あと **2300日** (2025.5.3~11.3)
「国際博覧会」と位置付けられる博覧会は、日本では1970年の大阪万博、2005年の愛・地球博以来のビッグイベント(大阪では1990年に「国際花と緑の博覧会(花博)」が開かれましたが、こちらは「特別博」というカテゴリーに位置付けられています)。なお、2025大阪万博の前には、2020年10月から翌年4月までアラブ首長国連邦で「ドバイ国際博覧会」が開催されます。

COUNT 2

COUNT 3

COUNT 1

スペシャルおまけ 久しぶりの復活。冬定番のオマケ「使い捨てカイロ」で温まってください!!



昭和世代・平成世代 お互いどう思う？

このコーナーも、もうすぐ平成が終わることにちなみ昭和世代・平成世代が入り混じる弊社スタッフにそれぞれの世代感覚についてアンケートを実施！「やっぱり…」「なるほど！」という声をご紹介します。

昭和世代へアンケート結果

この人**平成**だなあ…
と昭和世代が思った時



- 言葉遣い。「○○なんじゃね?」とか意味分かるけど違和感が…。
- 片手でスマホの入力ができる!
- 「あ、今空気読んだな」と思う時(波風立てろや!若いんだから)。
- 子供の頃はじめて買ってもらったゲームがスーパーファミカプレステ!?
- 様々なSNSを使い分けしている。
- 曖昧な物言いをすることが多い。
- 免許取らない、車買わない。
- 返信早っ!!
- 「あ、今空気読んだな」と思う時(波風立てろや!若いんだから)。
- 二人しかいない時に、話しかけたら「僕ですか?」と言われた時。
- のりピー(酒井法子)を知らなかった…。
- テレビは録画して観るもの。
- 簡単なことでも自分で判断しないで聞いてくる時。
- 至れり尽くせり。
- 公衆電話のかけ方知らないって話。

私って**昭和**だなあ…
とつくづく実感した時



- 懐メロ特集でかかる曲の歌詞を見ずに歌えてしまう時。
- ガソリン90円台が懐かしい時。
- 考え方がバブル。
- 「今さらジロー」って言う時。
- 大喪の礼の時、もう駒田印刷で働いていた…。
- ウォークマン、修学旅行で取り合いだったな、と思いつ時。
- カラオケで歌えると思って入れたらサビのラップが全然歌えなかった時。
- テレビのチャンネルを回すって言う時。
- アイドルグループの区別が付かない時。

平成世代へアンケート結果

この人**昭和**だなあ…
と平成世代が思った時



- 根性論でなんとかしようとする時。
- 新しい文化や感性に否定的な人。
- ご近所付き合いなど人とのつながりを大事にしている人を見ると思う。
- 亭主閑白(祖父あたりの世代だが)。
- 先輩と仮面ライダー話で盛り上がるも、頭に浮かんでるキャラクターが自分と全然違う時(仮面ライダーV3と仮面ライダー電王。もしくは藤岡弘と佐藤健)。
- 高くても良いものを買う。(安くても良いものもあるし…)
- 残業してバリバリ働くぞー!!って…。(休みほしいー!!!)
- 話が長い。
- 飲み会が大好きな人。
- 自分たちの頃はこれが流行って、当たり前だった、などとマウンティングしてくる時。
- 「これだからゆとりは」とか言うような人を見ると。
- タバコ吸う人。

私って**平成**だなあ…
とつくづく実感した時



- アナログ印刷の話が分からない(印刷会社らしい)。
- 年金が貰えるのか心配になる時。
- あんま上目指さない。
- 周りに合わせて行動してしまう時。
- 分からないことはすぐネットに頼る。
- プライベート大事だし。
- 打たれ弱いところ。
- 会社の飲み会より自分の時間。
- 学校は土日休みだったのに、と思う時。

Good Company, Good Job!

きらりと光る企業さん

NDS株式会社 様

- 創業 1954(昭和29)年5月
(日本電話施設株式会社として)
- 2012年(平成24)NDS株式会社に社名変更
- 従業員数 2787名 ※2018年3月末現在
- 本社所在地 愛知県名古屋市中区千代田2-15-18

<https://www.nds-g.co.jp/>



ICTソリューションでお客さまに「感動」を

このコーナーでは弊社とお付き合いのあるお客様の特色ある事業や魅力をご紹介します。今回は情報通信インフラを支える技術企業として60年の歴史を誇り、現在ではさまざまなICTソリューションに取り組んでいるNDS株式会社さんです。



現在放映中のテレビCMのひとつ

NDSさんが誕生したのは、日本が戦後成長期に入った1954年。当時の社名「日本電話施設」が物語るように、電話線の敷設など通信インフラを手がける会社としてスタートし、以降、時代と共に進化する通信技術を活用して電話関連施設はもちろん、道路や鉄道、土壌設備や建物内の電気設備など、人々の暮らしに欠かせないさまざまな分野でエンジニアリング事業を展開してきました。

そして現在、同社がこれまで培ってきた技術力をベースに新たに取り組んでいるのがICTソリューションです。身近な例を挙げると、企業のテレビ会議やデータネットワーク、交通系電子マネー決済システム、ホテル客室のWiFi環境やビデオ・オン・デマンドシステムの構築、生体認証技術等を応用した入退出管理や製造現場でのモニタリングなど。他にも流通、医療・介護、教育などさまざまな業種・分野でお客様の「こんなことができれば」という声に最適なソリューションを提供しています。

さらにこうしたソリューションをお客様に変わって常に安定して運用できるよう、同社では24時間365日、有人での保守体制を確立。どんな状況でもワンストップで全国のお客様の「困った」に即応できる点が大きな強みとなっています。

モバイル化、ビッグデータの活用、さまざまなものがネットにつながり情報機能が付加されるIoT、そしてAI…日々変化する情報化社会に技術と信頼で対応し、ビジネスや暮らしをより便利で豊かに変えていくNDSさん。その情熱は「感動エンジニアリング。」というキャッチコピーにもしっかりと表れています。

Information

News 1

働きかた改革、駒田印刷でも進む。

テレビ・新聞などのマスメディアでもこの言葉を見かけない日はないくらい、あちらこちらで話題に上る働きかたの話。当社でも昨年から残業時間の削減などに努めてきましたが、今期よりまた新たな取り組みとしていくつかの就業規則を見直しました。まず定年の年齢引き上げ(60歳から65歳へ)。有給休暇の最低取得日数を決めて徹底する。またハラスメントの無い職場を目指し、従業員全員が理解を深めるための勉強会等を行っていく計画です。



News 2

資格「印刷営業士」を取得しました!!

営業担当の糟谷、青山の2名がこの度国家資格である「印刷営業士」の試験を受験し見事合格。この資格は厚生労働大臣が認定するもので、実務経験2年以上の営業員が受験することが可能です。二人とも10年以上のベテラン営業マンですが、これまでの知識・経験を総ざらいう意味でもこの試験に取り組んで良かったとのこと。とにかく無事二人とも合格し、当社としては100%の合格率でした。今後も引き続き様々な資格取得を目指して参ります!!

